

ABS付き車

T, P, N, V 店

標 題 ABSダイアグノーシスコード「49」出力条件訂正のお知らせ

下記修理書のABSダイアグノーシスコード「49」の出力条件（異常条件）に誤りがありましたので訂正いたします。

資料名	品番	発行年月	部位	訂正内容
クラウン・ハードトップ 修理書/追補版	62176	1996年9月	P4-13(ABSのみ)	STP端子 1~10V → 1.2~6.8V
			P4-43 (ABS&TRC)	STP端子 1~10V → 3~9.5V
セルシオ修理書/追補版	62184	1997年7月	P5-27	STP端子 3~9.5V → 1.2~10V
アリスト修理書	62181	1997年8月	P7-43	STP端子 3~9V → 5.1~9.2V
ハリヤー修理書	62188	1997年12月	P8-45 (ABS&TRC)*	STP端子 3~9.5V → 3.7~6.1V
マークII、カムイ、クラスタ 修理書/追補版	62190	1998年8月	P BR-19	STP端子 3~1.5V → 3~9.5V
アルテッツァ修理書	62191	1998年10月	P BR-23	STP端子 3~1.5V → 3~9.5V

*修理書には、ABS&TRC付き車のダイアグコード49はTRC非装着車と内容が同じため省略されている。

〈参考〉

ダイアグノーシスコード「49」は、ストップランプスイッチON・OFFに関係なくスキットコントロールコンピューターのSTPよりストップランプ経由でGNDへ電流を流しており、この電流が流れなくなるとSTPの電圧が上昇（ブレーキペダル開放時は1V以下、ブレーキペダル踏み込み時は約1.2V、断線時はこの中間値になる）してダイアグノーシスコード「49」を出力する。

車種により、コンピューター内の仕様が異なるため、異常と診断する電圧値が若干異なっています。